

議会だより

たのはた

No.

145

2025.12.15

岩手県田野畑村議会



9 月定例会

- 2 令和6年度決算を認定
- 4 ここが聞きたい！一般質問
- 8 みんなのスマイル

初めての豆腐づくりは大成功

田野畑小学校（伊藤博光校長・児童99人）の3年生19人は11月21日、食生活改善推進員の皆さんに教えてもらい豆腐づくりを体験しました。この日は、大豆と黒豆を使った2種類の豆腐、おから団子づくりに挑戦。上手に出来上がった豆腐と団子を手には、児童たちは自信たっぷりです。



令和6年度決算を認定 一般会計は歳出36億4835万円

第5回定例会が9月11日から18日までの会期で開かれました。初日の11日は、村長の所信表明演述が行われ、佐々木靖村長が村政運営の基本方針や施策の方向性について演述しました。提案された報告1件、議案9件、同意案1件は、原案通り可決。また、議員発議1件を継続審議としました。令和6年度各会計決算の審査は、議長を除く全議員で構成する決算特別委員会（委員長・工藤求議員）を設置して行われ、最終日の本会議でいずれも認定しました。

令和6年度決算

● 一般会計 歳出総額36億4835万2266円、執行率88・6%、賛成全員で認定

● 国民健康保険特別会計

【事業勘定】 歳出総額4億6338万3923円、執行率78・2%、賛成全員で認定

【直営診療施設勘定】 歳出総額1億2707万2766円、執行率92・1%、賛成全員で認定

● 介護保険特別会計

【保険事業勘定】 歳出総額5億1430万9961円、執行率94・6%、賛成全員で認定

【介護サービス事業勘定】 歳出総額617万1366円、執行率95・6%、賛成全員で認定

● 後期高齢者医療特別会計 歳出総額4514万7837円、執行率96・3%、賛成全員で認定

● 簡易水道事業会計

【収益的収入及び支出】 収入総額2億2615万3668円、支出総額2億889万1230円、賛成全員で認定

【資本的収入及び支出】 収入総額1億2591万2000円、支出総額1億3485万7345円、賛成全員で認定

● 下水道事業会計

【収益的収入及び支出】 収入総額1億4484万7710円、支出総額1億3123万2421円、賛成全員で認定

【資本的収入及び支出】 収入総額491万円、支出総額2860万4126円、賛成全員で認定

議決した主な議案

● 令和6年度田野畑村の健全化判断比率及び資金不足比率の報告健全化判断比率は、次表のとおりです。実質公債費比率（※参照）は、10・5%で、早期健全化基準値25・0%を下回りました。

■健全化判断比率

比率名	令和6年度	健全化判断比率
実質赤字比率	—	15.0%
連結実質赤字比率	—	20.0%
実質公債費比率	10.5%	25.0%
将来負担比率	—	350.0%
資金不足比率	—	20.0%

比率が算定されなかった場合は「—」を記載

※実質公債費比率：一般財源に対する公債費（借金）の割合。18%を超えるると県知事の許可が必要。

● 職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、部分休業等に関する規定の改正をしようとするもの。

● 職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例
国の例に準じて職員から妊娠又は出産等についての申出があった場合において、任命権者が講じなければならぬ措置を定める等、所要の改正をしようとするもの。

● 平井賀漁港平井賀地区施設機能強化（北防波堤）その3工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて
契約金額：5000万5000円
契約の相手方：㈱佐賀組 代表取締役 高橋 賢

● 完成予定：令和7年10月10日
令和6年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
令和6年度決算で生じた未処分利益剰余金について、企業債償還財源の補填を目的として減債積立金に積立て、当該年度における企業債の償還に充当するため、地方公営企業法第32条第2項の規定に基づき処分するもの。

● 処分内容：6年度末の未処分利益剰余金

益剰余金残高1361万5289円のうち、103万7116円を減債積立金に積立てる。

●令和7年度一般会計補正予算(第3号)

1億8760万7千円を追加し、総額を4億6181万2千円とするもの。主な内容は次のとおり。

- ・財政調整基金積立金：7583万4千円
- ・過年度分障害者自立支援給付費
国庫負担金返還金：1054万8千円
- ・道路除排雪業務委託料：1000万円

- ・村道田野畑インター菅窪線凍上
災路盤修繕工事：1000万円
- ・道路維持管理委託料：700万円

●令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

【事業勘定】151万1千円を追加し、総額を5億9657万2千円とするもの。主な内容は次のとおり。

- ・特別調整交付金償還金：88万3千円
- ・特定健康診査等国県負担金返還金：46万7千円

【直営診療施設勘定】291万円を追加し、総額を1億3362万

4千円とするもの。主な内容は次のとおり。

- ・臨床検査委託料(医科)：200万円
- ・職員人件費(医科)：60万1千円

●令和7年度介護保険特別会計補正予算(第2号)

【保険事業勘定】3772万8千円を追加し、総額を5億9516万4千円とするもの。主な内容は次のとおり。

- ・介護給付費負担金等返還金：2702万円
- ・介護給付費準備基金積立金：976万8千円

●令和7年度簡易水道事業会計補正予算(第1号)

簡易水道事業費374万5千円を追加し、総額を2億2593万8千円とするもの。主な内容は次のとおり。

- ・漏水修繕費：220万円
- ・漏水調査委託料：36万円

●令和7年度下水道事業会計補正予算(第1号)
下水道事業費170万6千円を追加し、総額を1億5074万2千円とするもの。主な内容は次のとおり。

- ・処理場動力電気料：90万6千円
- ・職員人件費：74万6千円

教育委員の任命に同意

任期満了に伴う教育委員に川畑勝也氏を任命することに同意。任期は、令和7年9月18日から4年間です。

議員発議

●訪問介護報酬の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書について

昨年4月に介護報酬の改定が実施され、訪問介護の基本報酬は23%も引き下げられ、多くの事業所から不安の声があがっている。

訪問介護事業所のほとんどが地域に密着した小規模・零細事業所で、介護報酬の引き下げにより多きが経営難に直面している。

介護事業者の経営環境及び介護職員の処遇改善を実現し、在宅介護の基盤を存続させるため、訪問介護の基本報酬をはじめとした介護報酬の引き上げを早急に行うよう求めるもの。

- ・提出者：中村勝明
- ・賛成者：上村浩司、畠山智
- ・審議結果：継続審議

討論(6年度決算認定)

賛成

上村 浩司 議員

厳しい財政状況の中、一般会計の歳出決算額は、前年度と比較すると23.3%減の36億4835万円余りであり、少子高齢化や一次産業の低迷が続く中、各分野への将来に向けた予算の適切な配分に苦心されたものと感じている。

国内外的様々な情勢や気候変動の影響は決して楽観視できるものではないが、持続可能な行財政運営、村民が暮らしやすい村づくりを今後も目指していただくことを希望し、令和6年度的一般会計、各特別会計並びに各公営企業会計の歳入歳出決算に賛成する。

小松山久男議員が辞職

小松山久男議員が、令和7年8月31日付で辞職しました。同議員は、議会閉会中の8月29日、一身上の都合による辞職願を議長に提出。地方自治法第126条の規定により、議長が願出を許可し、定例会初日の11日、議長が議会に報告しました。

ここが聞きたい！一般質問 村の考えを問う

一般質問は定例会2日目の9月12日に行われました。小野協次議員、佐々木芳利議員、畠山智議員、中村勝明議員、上村浩司議員、佐々木伸議員の6人（登壇順）が、村政運営や教育行政について、村の考えを問いました。ここでは、各議員が行った一般質問と村の答弁を掲載します。



9月定例会の一般質問。質問者は上村浩司議員

村づくりの目標に込めた思いは 村長…未来志向の村づくり進め 次の世代に引き継ぎたい



小野協次 議員

【問】選挙公報に「子どもたちに夢と希望を与え、村民が楽しく暮らせる村を目指す」とある。これに込めた思いを伺う。

【村長】「より人に優しく、より産業を強く」を理念とし、3項目15点を公約に掲げ、村民の皆様にご訴えてきた。歯止めがかからない人口減少や先行きが不透明な経済の停滞感など、気持ちが沈み込みがちな昨今ですが、公約の一つ一つを実現していくことで、村民が明るく前向きな気持ちになれる未来志向の村づくりに取り組んでいきたい。そして次世代に引き継いでいきたいとの思いを込め、目標を掲げたところです。

【問】村長の公約「村費教職員配置により小学校の単式学級維持」を、教育長はどう捉えているか。

【教育長】本年度より小学校に村費教職員1名を配置している。

これまでも答弁したとおり、複式学級にはメリットとデメリットがあることを認識している。教員の増員によりメリットを最大限に生かすこと、デメリットを最小限にとどめることで、少人数であっても充実した学びが実現できるものと認識しており、村長の公約に掲げていただいたことは、大変心強く感じている。

緊急銃猟のガイドライン策定は 村長…独自の指針は未作成だが 課題を整理し対応を検討



佐々木芳利 議員

【問】市街地における銃使用が町村長の判断で可能となった。村はガイドラインを作成しているか。

【村長】鳥獣保護管理法が改正され、日常生活圏にクマ、イノシシが出没した際、首長の判断で緊急銃猟の実施が可能となった。

今年7月に国からガイドラインが、9月1日に県からマニュアルが示されたが、現時点で村独自のガイドラインは作成していない。本村の環境は、集落と山林が隣接しており、これまで同様に追い払いを対策の基本と考えている。

しかし、市街地をもつ自治体では、訓練実施や独自ガイドライン作成の動きがあることから、引き続き情報収集と関係機関との協議・調整を重ね、そのうえで課題等を整理の上、対応策を検討する。

【問】先人の業績を記録に残して将来に繋ぐべきではないか。

【村長】先人の業績を正しく理解し、深く感謝し、後世に伝えることは非常に重要なことだ。このことが、村民の誇りや故郷への愛着を育み、村の振興発展を支える力となると理解する。

どのような方法で記録等の保存を進めることが望ましいかなど、今後知見のある方等の意見を参考にして検討する。

わかめの一本だしの売れ行きは

村長…販売開始から順調に推移
試食販売などで販路拡大



畠山 智 議員

【問】「わかめの一本だし」の売れ行き、今後の見通しを伺う。

【村長】「岩手県田野畑産わかめの一本だし」は、今年7月に販売を開始。9月5日現在、道の駅たのはた、ホテル羅賀荘のほか、村内商店において1701個が販売されている。この商品の企画製造元は、初回3000個を製造し、追加で3000個を製造した。売上げは順調に推移していると捉えている。

今後販売促進に努め、友好都市である埼玉県深谷市や青森県藤崎町の道の駅等で試食販売会を行うなど、販路拡大に取り組む。

【問】村の米生産農家は減っていると思う。米の作付面積は、昨年と比較して、どのように変化しているか。

【村長】水田は約63畝と少なく、休耕田も多くなっている。農協に出荷する農家は数件で、多くが自家用米の作付けとなっている。

令和7年度の計画書に基づく作付面積は7・2^{ヘクタール}、出荷者は4名で、出荷予定数量は30kgの袋で600袋で、6年度の634袋よりやや減少しているが、5年度から3力年の出荷数量に大きな変動はないことから、作付面積に大きな変化はないと思っている。

エアコン購入を補助する考えは

村長…制度設計に向け基礎調査
ニーズに即した具現図る



中村勝明 議員

【問】省エネ住宅リフォーム制度を拡充し、エアコン購入補助を検討してはどうか。

【村長】国の2050年カーボンニュートラル目標を踏まえて、住まいの省エネルギー改修推進事業費補助金により、既存住宅の省エネ性能向上に向けた取り組みを進めている。しかし、財源とする社会資本整備総合交付金は、現行制度ではエアコン設置工事は補助対象に含まれていない。

本件については、私の公約に掲げたところであり、制度設計に向けた基礎調査を進めている。その調査結果を踏まえ、地域の実情やニーズに即した補助制度の具現化、財源の確保など、検討を進めていく。

【問】「非核平和の村宣言」の宣言塔、横断幕を設ける考えは。

【村長】宣言塔や横断幕については、村民皆様の機運の高まりなどを鑑みて判断したい。

戦後80年が経過した現代日本は、戦争を知らない世代が国民の大多数を占めており、戦争の記録や教訓を未来に伝え、継承していくことが重要な課題といわれている。今後も村として、様々な機会を通じて平和への思いを村内外や後世に伝えていきたい。

津波注意報・警報の対応状況は

村長…警報と同時に避難所設置
消防団は延べ76人で警戒



上村浩司 議員

【問】7月30日に発令された津波注意報及び警報の対応状況は。

【村長】災害警戒本部は7月30日午前8時37分、注意報発表時点で設置。その後、災害対策本部は同日の午前9時40分、津波警報への切替え時点で設置した。

気象庁観測所がないため観測数値の記録はないが、津波避難監視カメラでの目視確認で、羅賀漁港の2層岸壁（物揚げ場）に、時折波が上がっていることを確認。被害状況は、農林水産、道路インフラ等の被害はなく、津波による漂流ごみ等の報告も受けていない。

避難所は、警報発表と同時に田野畑中学校体育館に開設。1世帯2人が避難した。福祉避難所（3ヶ所）への避難はなかった。

消防団は、地震・津波災害活動マニュアルに基づき出動し、避難誘導、警戒活動、浸水区域への侵入規制を実施した。津波注意報の発表から解除まで、30時間ほどの警戒体制をとり、団員の延べ出動人数は76人となっている。

徒歩旅行者への対応は、危険区域内地での避難誘導は確認していない。危険区域外では、トレイル利用の外国人旅行者3人に対し、注意喚起の声掛けや誘導などの対応を行った。

防災・減災対策の具体的構想は 村長…沿岸地区に防災関連施設 土砂災害のマップを改訂



佐々木 伸 議員

【問】 公約に掲げた「防災・減災対策の強化」の具体的な構想は。

【村長】 地震・津波対策については、日本海溝や千島海溝などで巨大地震・津波が発生した場合の新たな被害想定に基づき、本年度から3カ年計画で防災関連施設（明戸、羅賀、島越）を整備する。夜間、冬季等を踏まえた備蓄対策を想定し、低体温症避難者等の健康被害防止などを目的としている。

土砂災害対策は、今年2月に岩手県から新たに土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域が指定されたことに伴い、ハザードマップを改訂し全世帯に配布する。

【問】 道の駅のインターチェンジ化について、どのような活動をしてきたか。 開通スケジュールは。

【村長】 令和4年から国土交通省道路局長をはじめ、東北地方整備局長、三陸国道事務所などに精力的に要望してきた。さらには、地元選出で当時の鈴木財務大臣には8回にわたり要望。また、道路整備に関わる全国大会、岩手の道づくり大会等でも、関係者に直接要望を行ってきた。

開通時期は、工事の進捗状況を三陸国道事務所と共有しながら、年内の早期開通を目指し、協議と調整を進める。

質問者	質問項目
小野 協次	◆「子供たちに夢と希望を与え、村民が楽しく暮らせる村」に込めた思いを伺う。 ◆村長公約「村費教職員配置による単式学級維持」を教育長はどう捉えているか。 (その他の質問) 消防団屯所へのエアコン設置、ふるさと納税 ほか5件
佐々木芳利	◆村の緊急銃猟ガイドラインは作成されているか。 ◆先人の業績を記録に残し、将来に繋ぐべきではないか。 (その他の質問) 有害捕獲獣の処理について
畠山 智	◆「わかめの一本だし」の売れ行きと今後の見通しを伺う。 ◆村の米作付面積は、昨年と比較してどのように変化しているか。
中村 勝明	◆省エネ住宅リフォーム制度を拡充し、エアコン購入補助を検討してはどうか。 ◆「非核平和の村宣言」の宣言塔、横断幕を設ける考えはないか。 (その他の質問) 訪問介護報酬引下げの影響、第三セクター賃上げ補助 ほか3件
上村 浩司	◆7月30日に発令された津波注意報及び津波警報の対応状況について伺う。 (その他の質問) 有害鳥獣駆除に対する考え方
佐々木 伸	◆公約に掲げた「防災・減災対策の強化」の具体的な構想を伺う。 ◆道の駅インターチェンジ化に向けたこれまでの活動と開通スケジュールを伺う。 (その他の質問) 村長2期目のスローガンについて ほか1件

議会のほてな？

〜用語の解説〜

■決算特別委員会

毎年度、決算の認定を行うために議会が特別に設置する委員会。主な役割は、前年度に執行された予算が適正かつ効果的に使用されたかを審査し、その結果を今後の村政運営に反映させることです。

■早期健全化判断基準

地方公共団体の財政状況が悪化する前に、自主的・計画的に財政健全化を図るための指標（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）と、それを超えた場合に財政健全化計画の策定が義務付けられる一定の水準のことです。

■議員発議

議員発議とは、議会の議員が議会に議題や議案を提出することです。提出された議題は「発議案」となり、地方自治法に基づいて条例や意見書などが含まれます。

9月定例会で決まったこと

議案番号	議案名等	審議結果
報告第1号	令和6年度田野畑村の健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告
議案第1号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第2号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	可決
議案第3号	平井賀漁港平井賀地区施設機能強化（北防波堤）その3工事の変更請負契約の締結に関し議決を求めることについて	可決
議案第4号	令和6年度田野畑村下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	可決
議案第5号	令和7年度田野畑村一般会計補正予算（第3号）	可決
議案第6号	令和7年度田野畑村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第7号	令和7年度田野畑村介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決
議案第8号	令和7年度田野畑村簡易水道事業会計補正予算（第1号）	可決
議案第9号	令和7年度田野畑村下水道事業会計補正予算（第1号）	可決
認定第1号	令和6年度田野畑村一般会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第2号	令和6年度田野畑村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第3号	令和6年度田野畑村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第4号	令和6年度田野畑村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定
認定第5号	令和6年度田野畑村簡易水道事業会計決算認定について	認定
認定第6号	令和6年度田野畑村下水道事業会計決算認定について	認定
同意案第1号	田野畑村教育委員会委員の任命に関し同意を求めることについて	同意
発議案第1号	訪問介護報酬の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書について	継続審議

多様な人材が参画する 議会の実現を目指して

議員なり手不足対策特別委員会（中村勝明委員長）では、なり手不足問題の現状を村民と共有し、議員に立候補しやすい環境づくりに取り組むことにしています。

■マレット交流で意見交換

10月15日、女性団体協議会とマレットゴルフ交流会・懇談会を行いました。これは、肩ひじを張らずに気軽に懇談しながら、団体の活動状況や課題などを伺い、議会への理解を少しでも深めていただくことと企画したものです。議会では、今後もこのような交流を継続し、村民の皆さんと意見の交換をしていくことにしています。

■議員活性化シンポジウム

地方議員活性化シンポジウムが11月13日に行われ、議員4名がオンライン聴講しました。

テーマは「誰もが参画できる議会を目指して―これからの議会の姿とは―」。議会への住民参画や議員活性化、議会における男女共同参画の事例が紹介されました。

議会では、先進の事例に学びながら、誰もが議員を目指すことができる実効性のある環境整備に取り組んでいきます。

みんなのスマイル😊



関口 信之 さん (机・30歳)

◆お仕事は
ホテル羅賀荘で働いています。

◆スマイル、元気の源は
やっぱり、おばあちゃんの料理です。一番好きなのはお煮しめ。浜のものもおいしく作ってくれます。感謝しています。

◆趣味は
休みの日には、一人でプチ旅行を楽しんでいます。最近は、福島県の会津、いわき地方に出掛けてきました。

◆村や議会に期待することは
活気がある村になってほしいです。そのためにも、若い人が伸び伸びと働ける場所や環境があってほしいと思います。

宮古地区広域市町村議会連携会議

予算・決算審議をテーマに研修

宮古地区広域市町村議会連携会議（会長・橋本久夫宮古市議会議長）の議員研修会が11月5日、ホテル羅賀荘で開催されました。研修会には、宮古広域の4市町村議会から議員49名が参加。講師に（一社）地方公共団体政策支援機構の渡辺太樹 上席研究員を招き、「議会が行うべき予算・決算審議について」データに基づく財政及び総合計画との関係」と題して講演をいただきました。

渡辺氏は、「自由な財源がどれだけあるのか」を知り、その上で「何が課題で住民は何を望んでいるのか」に視点を定める。そして、何を優先し、どれだけ使っているか。それは有効かつ効率的であり、効果があったのかなど、「能動的に数字を問うことが議会の審議です」と講演しました。

同会議は、平成31年4月設立。共通の行政課題の調査・研究、研修活動等に取り組んでいます。

つく財政及び総合計画との関係

地方公共団体政策支援機構
上席



講演する渡辺太樹氏

あ と が き

9月定例会は任期折り返しとなり、常任委員会の編成替えを行いました。広報公聴委員会も新体制となり、村民をはじめ多くの皆様が手に取って熟読いただけるような広報紙づくりに励んでまいります。本紙の感想や議会へのご意見、ご要望をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

今年の新語・流行語大賞に「二季（にき）」という言葉が選ばれました。地球温暖化の影響で季節が夏と冬の二季化していることからこの言葉が生まれたとのこと。本村も酷暑の夏となり農林水産物への影響、住宅地へのクマの出没、津波警報・注意報が二度も出るなど、自然との関わり方を考えさせられる年となりました。

師走に入り、忙しさが増してまいりました。皆様、健康にご留意のうえ、良き新年を迎えられますようご祈念いたします。

広報公聴常任委員会

委員長 工藤 求